

令和元年度 卒業証書授与式

R2. 2. 29 (土)

★新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、卒業生と保護者、教職員のみで行いました。卒業生は、三好高校で3年間学んだことを誇りに、とても晴れやかな笑顔で、「やり切った!」という満足した表情で本校を巣立っていきました。
なお、式の簡素化に伴い割愛した「加藤義一 PTA会長」の祝辞を、掲載させていただきます。



卒業生 入場



普通科 卒業証書授与



スポーツ科学科 卒業証書授与



校長 式辞





在校生 送辞



卒業生 答辞



3年生 学年団



加藤義一 PTA 会長 祝辞

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。そしてご父兄の皆様、本日は誠に
おめでとうございます。今日の良き日を無事迎えることができましたのも熱心
にご指導くださいました先生方のお陰であると深く感謝しております。今年度の
卒業式に際しまして PTA 会長として一言祝辞を申し上げます。

さあ、皆さん卒業です。皆さんの心境は喜びよりも安堵感、嬉しさよりも感謝、
涙腺が緩むばかりでなくこの先を思うと楽しみや不安…等々。どうでしょう、今こ
の空間には様々な思いが飛び交っているような気がします。いずれにしても高等
学校の学習過程を終え卒業という一つの到達点に立てたことは素晴らしい事だと
思います。

三好高校の仲間達との幾つもの物語は喜怒哀楽に満ち溢れているという言葉だ
けでは足りなすぎますね。思い出を語りだせば尽きないでしょう。ただ、その思い
出を紐解くのはまだ早いですよ。皆さんの人生というドラマはまだ18年分しか
なく、高校の3年間はこの先の人生の主演を演じるための人間形成の一つで、まだ
序章にすぎません。

少しだけ振り返ってみましょうか。学業で成績を上げたことや今回志望校に合
格を掲げ集中した日々は小さな積み重ねと大きな粘りがあったと思います。また
部活動での成果の裏には仲間とのぶつかり合い、先生との意見の不一致等、心悩ま
せながら必死で乗り越えて忍耐の末に得たものではないでしょうか。文化祭、体育
大会では年に一度の機にクラスがまとまり自分たちのアピールをどうしようと皆
で考えている時間が楽しくて仕方なかったことでしょう。この他各種実習、修学旅
行等も同じでしょうね。最もこんな笑顔の結末ばかりではないことがあるのも当
然知っています。ただ、結果としてそれらは貴重な経験となったはずです。その経
験を糧に次のステージでまた新たなドラマの次の章をスタートさせて下さい。振
り返ることなく未来だけを夢見て進んで下さい。待ち受けるテーマや共演者は自
分づくりの手伝いをしてくれます。環境の変わる時は今までの自分を変えたり、新
たな思想を始める良いチャンスとも言えます。ただし！どんなストーリーになる
うとも巻き戻しはしないで下さい。アクションを起こした結果が成果です。思うよ
うにいかないことも尊いもので、探し求めた答えはいつの間にか変わっていくも

のです。自分が望んだことを続けられる事は幸せと同じだけの苦しさもついてきます。三好高校を巣立っていけるのも多くの人の助けがあったことを忘れないで下さい。

私も高校時代から今日に至るまで様々な経験をしてきました。一部始終をお伝えはできませんが仕事も、プライベートも敗北の中に成り立っていたと言っても過言ではありません。ことに学生時代から続けた競技を社会人になっても続けましたが自慢できるような結果、栄冠はほとんどなく、思い出すのは試合を左右する場面でのミスや散々準備してきたにも関わらずプレイの巡りあわせが悪く手応えなしとか、勝負を賭けた試合でありながら仕事が入り欠席せざるを得ない。とそんな話ばかりです。しかし経験の末に学んだことは幾つもあります。発見と学びがあれば失敗は活かせる事、葛藤があるから工夫する価値がある事、どうにもならない局面や成果の出せない辛さや痛みの中にそれでも前へ進まねばならない厳しさも知りました。それだけでなくフィールドに立つ為の準備においても道具の手入れ、健康管理、社会人たる姿勢の上に成り立つ部分こそプレッシャーのない日常生活に勝負の原点がある等。悔しさを繰り返しながらもこうした気付きが救いとなり私は立ち上がり続けることができました。それが勲章であり今の自分の土台となっていると思います。学生も社会人も視点の置くところや必要となる基本はきっと同じであると思います。

皆さんの未来は今までに覚えた表現だけでは伝えきれないドラマの展開がありますよ。そう主役はあなたです。困ったら誰かを頼ったらいいんです。疲れたら休んだらいいです。自分の進むべき道にあるものはあなたを成長させる物事ばかりです。毎日笑顔で、元気で過ごしましょう。

最後に今日までの人生において出会った仲間達、どんな時も寄り添ってくれたご家族、18年間の自分の人生に対して感謝して下さい。上手くいったことも、いかなかったこともすべてが未来への力となります。本日はこのような晴れの席において祝辞を述べさせて頂きました事、大変光栄に存じます。卒業生の皆様に心からの祝福を贈りご挨拶とさせて頂きます。ご卒業おめでとう。

令和2年3月1日

愛知県立三好高等学校 PTA会長 加藤義一

